御戒膳に野戦料理 **吳し將兵の勞苦を偲ばせ給ふ** 

ったのであった 新年の御儀

編造を話と 外務當局の見解

兵站基地の使命達成に

側面的指導と援助

本社二大事業の一

朝鮮興農會の創設

皇國 の歴史は降々として

西東

總督総品農林局長より讀評



### 半島民衆の覺悟 堅忍不拔 確固不動 南總督全國心年頭放送

獨政府反駁

寄與する所甚大

河相延夫氏起用

使

大野政務的

東でありまった。 東でありまった。 東京でありまった。 東京でありた。 東京でありまった。 東京でありまった。 東京でありまった。 東京でありまった。 東京でありまった。 東京でありた。 東京でありた。 東京でありた。 東京でをまった。 東

0

愛見の大敵!

使命の完逐期待

多大の貢献確信

本時神行に、無話の影字で墾行、式後正前女にた。 こまして 観神を附み続し、魔器ある二千六百一年への話しい円妻を声誦した [学展] 推奨師の理学式]

日滿華駐在領事も引揚げか

眼に 餘る米の 暴臭

海に流し とながら所謂 ながら所謂 となけれた 関を解決 関を解決

明の自邸で

華個

館 尚 牛 子 りあに店業地を

河相公使語る

冬の家庭の必備薬です 少しも副作用がなく スラく熱を下げる

少量で、服ませ易く

たし抵抗力の弱い小兄に大人用 の乗では環過ぎて往々中毒を招 の乗では環過ぎて往々中毒を招 感冒、肺炎季人

冬の家庭にゼヒノ

主

丹平

量にイタターはドイッとの間に軍馬的、經濟的に、未曾有の数器な

伊へ新春の祝電

戮力新秩序建設に驀進

ガレアツオ・チアノ

日本國民に寄

9

る信仰の歌をかとも動物せしめまたイタリーの歴史方針を態度せてうした用語目の画都を奏することにより、伊國民のム首相に関す

かつ張力である

ンリルベ

米國は何う出る? 宿命的な戦争への歩み 極東對策積極化の兆

戦火を越えて

建設の現想實現

₹

今年こそは、の伊國民

親英の暗流

ソ聯市民生活の横額

北政務委員長試筆

時に、確に、感に、外效に、フー本学とが1天家の無い個響さと数。されて後の劉紫には対する地の。 「本語」を加えてもよい日、から毎日は数・電影響に不認り、変数で対の鉄、毎日である。実数で対の鉄、毎日であせる地域を載めつ。「本学とが1天家の無い個響さと数。これで後の劉紫には対すられた。」で、こう、こう、日本は1年のである。「本語)を加えていまった。「もった」である。「本語」を加えていまった。「もった」である。「本語」を加えていまった。「もった」であった。「もった」であった。「もった」であった。「もった」であった。「もった」であった。「もった」では、「本語」であった。「もった」では、「本語」では、「本

半島の終力體制

4[1]

皇道に嗣一

とよ

防衞指導部長

とであります。この意味に於て政とであります。この意味に於て政

買溜めの持腐れ 不所存者に断乎鐵槌

北

画

一星堂乾材藥局 二星堂乾材藥局

光

敏

黄海道兼二浦

職員一同

保元堂乾材藥局

松田義洙

**医乳腺瘤 西原相舌** 

鹽縣 日新堂藥房 萬 果 邑 **電影平本** 麗景蜜變

**全国** 金村元鍾 黎物産株式會社 2000年 200 慶北醴泉 禮 會配而工銀行體泉支店等 累 邑 耽 泉 泉 商工 鳳 會 全北高敦 高敞部高水

全北高敞邑內 ± 油 = 曹月山里 **建社**\* 內 吳敞 童高 秉 盛 \* 樂 代 平敞 東理 相農 E館 肉儿 盛樓 根場 烈

全 支配人 白 南 社長 洪 海 鍾 白海南鍾

奎 · 成 農 贸場

腰高彌太郎 職員一 職員一同 延白農區 黄海道延安 雜穀部一同 **第二浦糧穀組合** 合同精米所一同

版高全 和5七

和糧穀配給組合 1.高敞邑內

做 B 内 産 業 海組 熙合

高敞郡大山面山亭里 星 野 即 農

麵弘

渺章 場

生器 駒 同

住宅難の嘆き

高敞 司 高敞郡 大法 響書 東土 雪會

松高级色内 初內 等學校教員 會

に取って、何段成の下島取

**金館** 森曾 金 半 半 题 河 北浦 寶 遇 工場

全北高教

主図点

批祭女

式

爾會

曲肚

漁業組合

新浦 外監監會理副組織 事事事計事長長 組久朴明國田安山肥 製造業組 遵 員江永 秀得 同作錫吉弘馨仁異合

北鮮製製商 南 新 大美國民共和公治 浦

T. 新 浦 第6 新華 店 金幣

原。友 宝 融會

高級郡富安面風岩里

之芝 亚源

理事 敞 中 **二旗**學校 師秀 想達

高

高匹郡茂長田江南里

**吳**中學校理事

孫學校評議員

清敞

**a**本長

朴

東東

组助

面

全北高敞郡心元面月山里 不

社 芳 郁

監査役

林

高敞窯業株式

\* 報 卍

高敞郡海里面松山里

佐々木進三取店 生 本本 生三取店

元山府春日町、一〇 ic 人佐族廣吉

村

商店

元山土地姓物縣

全興 懷造來會社

明鮮運送來會 元 山 支 店 支 居 華 人 島 强 平 支 居 華 人 島 强 平

東寶 東寶 日活音 映画常設 大寶 遊樂館 電話一二五番

元山府北村洞七五 東戦却切って 電話二四〇番

三隅義一

商

會

· 日話映書特約 泉大 <sup>電話八四四番</sup> 昇 **勝** 

木 芳明

業水產 二區機組E 曳網 工區機組E 曳網 勝孫組 司吉合

東海水產業會社

計

店

古

靴

湿店

湖州黄佳夏文山榮一

治

舘

恩均

政

眞

高部

吉

曄

船館

機械的智能の國民の技術」

軍機械化高度國防と

湖南 林式會社

全州遊廓組合

產

耀業 

物 社 長産

魚 物 器二萬會 五萬會 器 五

乾和

全州郵便局職員一同

全州建築組合

栗村井 橋島上 德樹藏

Щ 農 保茂恒(1)順) 切

道立際職員

**高本田繁藏** 

. Щ

州郡

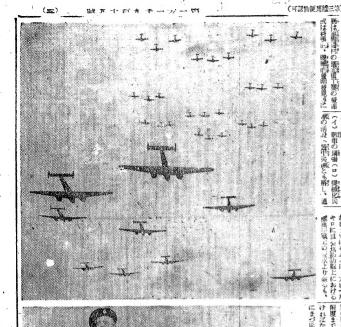
廳

職

員

司

電話五五九級 夑



空軍(下)英の

銀杏家旅館

植渡宗榮商店

全州麟組合

**『動画通渡宗俊商店** 

全州歐級組合

州府會議員(元) 村永川本公屋由本村島宮田木

炳麟光松角 喜福清柱 善良

全州等層版員一

[19]

喜一宣雄治治作市杉祥元松作鎮軾

全雜北道影礼

水 

店社社社社社所店社社所所店店

全全全全全全全 

映圖 **五般** 相 附 大 帝而 **電校**國

电前四四七番 **館** 

南 LE III

動

曜 高五一二番 南 會

初

等

學

校

職

H

會

南

<sup>效股</sup> 株

定

爾會

展形

樂

, 18<del>1</del>

=

員本尹 \_利 同作

職

會識所翻貨

商

組

合

竹州

炳

'話

まって

全

全羅北道各金融

朝鮮 輸組合金羅北道支部

f"; 全 州

農

全北全州

**麥禮酒造場** 

禮疆

糓

物

組

舎

印

では、大大な事かって切りてから、世間の人を見ら何ととろで、世間の人を見らられた。 とれに 一 一 で とんかない という で とんな からい	物便繁整 から とこできるないとした かん 女中などのないとした いっとした から と思いてるなけれた、あなない かんら といてものけれた、あなない かん など いっとした いっとした かん ない としたわ		おおに、主要の現が、わざく。他 だが実的子は、ととか事へられなかっなのか知ら、 ために、主要の現が、わざく。他 だが実的子は、ととか事へられなかっなのかか知 してるてあのでは、としてあない。 まなたに、本て、 をあんな目に合なせておいて今 和らい。 「本の人、そんなに、 なの人な目に合なせておいて今 和らい。 「本の人、そんなに、 なの人な目に合なせておいて今 和らい。 「本の人、そんなに、 なの人な目に合なせておいて今 和らい。 「本の人、そんなに、 なの人な目に合なせておいて今 和らい。 「本の人、そんなに、 なの人な目に合いならしたい 「上が多んな目に合いならしたい」 「上が多んな目に合いならしたい」 「上が多んな目に合いならしたい」 「上がさんの戦さんの場合とない。 「本の人でですべんないあった。」 「本の人でですべんないあった。」 「本の人でですべんないます」 はないました。 「本の人ないます」 「本の人ないならしたい」 「本の人ないならしたい」 「本の人、そんない」 「本の人、そんない」 「本は目のまんんんない」 「本は目のまんんんない」 「本は目のまんんんない」 「本はは「ない」 「本が、」 「本はは「ない」 「本はは「ない」」 「本はは「ない」」 「本はは「ない」」 「本は、「ない」」 「ない」 「ない」 「ない」 「ない」 「ない」 「ない」 「ない」	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
は、	た	朝鮮總督・鏡	なんな かってんな かってん かってん 知事の かってん かってん かってん かってん かってん かってん かってん かってん	大 (作) (作) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1
海陸作業株式會批清津出張原本式會批清津出張原本式會批清津出張原本式會批清津出張原本式會批清津出張原本式會批清津出張原本式會批清津出張原本式會批清津出張原本式會批清本出張原本表面。	全融組合 会融組合西 京 藤 藤 藤 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬 瀬	北道水産試驗場北鮮支 海 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	本豆類集荷組合 和建築 衛	北 清 津
電響を登しる。 本 捨 吉 を 本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	九金商事合名會社 龍井貿易株式會社 龍井貿易株式會社 清津駐在 員 瀬井町 新頭剛 職務17 七次大番 灣和市町 新 電路 18 大 電子 大 大 香 港 港 大 大 香 香 港 大 大 香 大 香 香 木 香 大 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香	本では、本本男商店では、本本男商店では、本本男商店では、本本男商店では、本本男商店では、「「」、「「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	情報 (本)	建
是 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	初音食堂器に対象を開始した。	日 響響 警	田堂 洛 商 高 店 房 店 店 席 店 席 店 席 店 席 店 席 居 居 席 席 席 居 席 席 席 席	方 云 詹 會 會 寧 公 立 音 · 公 公 云 公 公 云 公 云 云 公 云 云 云 云 云 云 云 云 云
爾朝 壽北 食等 元章 會	章 鏡	株	企業のである。 ・企業のでは、 ・企業のでは、 ・企業のでは、 ・企業のでは、 ・企業のでは、 ・企業のでは、 ・企業のでは、 ・企業のでは、 ・企業のでは、 ・企業のでは、 ・ででは、 ・でできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	會寧 公立 商業 學 沒會 要 公立 高等 女學 核會 學 公立 高等 女學 核會 要 普 與 女 學 校
1	· 雪点 湖北 會 日本	文章 本 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	古 食	治
理 東 華 商 店	林 產 組 合 電話三六番	京城日報社高原 原 支 局京城日報社高原 原 查名申國際的 解鲜蓮菱株式會社商原營業所	高原原 整整整数型 整整数型 整整数型 整整数型 整整数型 整理数型 使型数 使型数	村會業
盛田與安興元原和 和 精精精精精精精精 電電電電電電 ********************	生 高 英水錦玉雲 D 子	京   一体	東京 大昌商會   東京 大昌商會   東京 大昌商會	前和曾連續 整
一 三 所 新 所 所 新 所 あ 所 あ 所 あ 所 あ あ あ あ あ あ あ あ あ あ あ あ あ	萬 雄 <b>結</b> 紅桃曲花月	*選 烈	多服 多店 产會	在 全 全 電 電 部 出 出 会 歌 部 出 会 所 会 所 会 所 。 会 の の の の の の の の の の の の の

北鲜篇

金ピカ重工業

山の乗つた鰯の清津

# 早くも技術陣を動員

戦縮が何故にとの積極的に内戦戦 文化物音を伸びる大陸へ

場期 所日

三中井四、五階催場

國民總力朝鮮聯盟

各新聞

昭和十六年一月七日より十三日迄一週間

日華親善の

吳服屋燒く 元旦の火事

南鮮煙草飢饉

宣傳部一行の感激

京大三連覇

**長星玄蕃** 

REGAL

### 告謹てい就に稱改名社

取締役社長 鈴木 三郎助 鈴木食料工業株式會社鈴木商店

梅原秀夫演

節花浪 ○二・六 スーダル木屋男

日本 日本 一部 では、 100 では、

元子の機会を機模

## 愛國班員諸君よ お目出度う

# を設南さん質正の辭

燦たり剣光の行進

都天より本社々長に宛て次のやう

婆が 人間の 代用食になって

呈月主介氏

栗馬の主食に大恐怖

鑲山機械工作機械類斡旋 勞力 供給 荷 揚請負業 土 木 建 築 請 負 業

一一番地

『龍山原頭の觀兵式

**感感卵質に順大。に魅力。原型ら、響騰(の)の間)となり八日間山戦に関で飛行され、中村軍司令医肺関の下に間山戦時機関部院の響線「所こそ所・残にしてみるが、影金、風を働き中村朝戦が割った場響的。 金加へた 1月1日開戦的機長式は緩灼の意識を設 一一一一四百萬架関助員は関。の勝れの魔地的戦に武は渡郊の夏、『朝戦部襲道部撃武] 昭和十六年、曹操を書祈りし、なって来る** 

一等級が巾をきかす

新上買入所

龍

斯上河公丁灣高小縣校

聖

**原大城廣弘** 

職

H

可

新東京下三十届世の自然の屋がと 新東京下三十届世の自然の屋がと 新東京下三十届世の自然の屋がと 慰境の従業員

の 契修として発動した観子器と無法 ・ 飛動観察によって更に今日の ・ 飛動観察によって更に今日の 開拓されまな影響

けふの天気

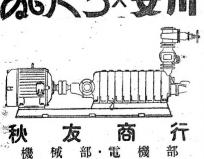
があった、特代の部門海峡も日野の

員際

同

大昌精米所

関太田 定



悈

國民總力の發揮 紀元二千六百一年

部 

洽

集別ントリバ エシッエピ・トルハルゲ 裏性ノアピ ーラーエミ・ドウ・スンハ 曲蛇の毎娘く駅に切のろ 館名の仕順な情報のエジュと 

根替京城三三〇三番 電話本局(2)[五八七〇番 一四一二番

リーガル盤と大評判です。

的人也会 自众生多星 皮膚淡尿

性病科

昭和拾五年十二二

右御挨拶旁々御願迄如斯御座院 の御後援を垂れ賜り度伏而奉懇願候

と經驗を基礎となせる技能を以て乍微力食料工機株式會社と改稱仕り多年の研究 重大と相成居り候趨勢に鑑みへ行言での 何卒行事情御高承の上今後とも從水上様 的に私營む事と相成候就而社名も亦給木 に一要なる各種食料品の製造を更に積極 食料報國の誠を致すべく邁進仕度存候間 誓制度機構を刷新し味の素の危間民生活 建設遂行の秋に當り食料工業の位台公々

維扶式會社鈴木商店儀刻下高戶同防門家

